

人とかかわるということ

9月に入り、週末ごとに天候が悪化し、沖縄方面では観光客を迎えようとしていたところ、キャンセルが もいった報道が見られました。そんな中、敬老の日を含んだ3連休には大型の台風が上陸、沖縄地方 以外では初の特別警報が発出され、大きな被害を受けました。亡くなられた方々を悼み、被災された多くの 方々にお見舞い申し上げます。

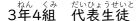
がっこう 学校では10月13日に実施される文化祭に向けて、学活や音楽の授業に元気な歌声が校舎に響いて います。当日はぜひ、生徒たちの練習の成果をご覧いただければと思っております。「私は、小学 二年生 まで中国で過ごしていました。十歳の時、私の人生のターニングポイントが到来します。当時、両親は にほん たいざい ちゅうかりょうりゃ けいむ 日本に滞在し、中華料理屋を経営していましたが仕事が落ち着いたこともあり、私は日本に移り住む ことになりました。(中略)そして日本語を使って同級生と意思疎通できるようになるのに8か月ほど かかりました。その間の私は、意思疎通もままならないため休み時間は自分の席にじっとして、絵を描い たり、本を読んでいました。家に帰るとき、両親はいないため私にとっての遊び相手は三歳下の弟が っね 常でした。日本語が少し話せるようになった頃、私は鬼ごっこやドッヂボールを通して同級生と少しずつ がが 関わるようになりました。しかし、からかいと悪意の両方含め、私に対して中国のあだ名や悪口を言わ れることがありました。当時の私はどう対応していいかわからず暴力でやり遊し、それが災いして ぽうりょく おうしゅう つづ 暴力の応酬が続きました。これはあるNPO法人でボランティアをしている大学生が機関誌に寄せたもの。 です。この中で「私は、意思疎通もままならないため休み時間は自分の席にじっとして、絵をかいたり、 本を読んでいました。」とありますが、人と関わる中で意思の疎通ができない、自分の気持ちを正しく まいて、つた 相手に伝えられないことがどんなに辛いことか、考えたことがありますか。先日、富士見中学校跡地に設立 された日本語支援拠点施設「ひまわり」の卒級式に参加させていただきました。日本へ来て日が浅い小中 が、せい、にほんご、べんきょう。 という にほん がっこう はや な しゅう にきかん 学生が日本語の勉強をするとともに、日本の学校に早く慣れるよう4週、12日間にわたって学習し

の日に行われました。式の後、それぞれの学談で一生懸命に学習してきた日本語を使って保護者の芳やそれぞれの学校の先生に伝えようとする姿に、学習の成果がしっかりと懲じられました。最後にひまわりの講師の芳からの言葉に「4週間で大きく日本語は上達しましたが、まだまだ十分ではありません。ぜひ保護者の芳や先生芳の芰えをよろしくお願いします。」とありました。このように語学に自信がなく、なかなか周囲とのかかわりに声談う人がいること、他にもなかなかしゃべることが苦手な人や恥ずかしがり屋の人など様々な理由で自分の気持ちをうまく表現することが不得手な人がいることを知ってください。

そんなときに自分は何ができるかを考えてみてください。

【英語スピーチコンテストに出場して】

7月26日、7月28日と8月19日に、保土ケ谷公会堂にて行われた「英語スピーチコンテスト」に、本校より3年4組から代表生徒2名が出場しました。





すべての期間を振り返って思うことは、本当にただ楽しかったということです。本番では、「作文ではないのだからかたしる。 本番では、「作文ではないのだからかたしる。 では、「作文ではないのだかられて見て聞いてほしい」と思い、表現力を上げることを意識しました。すると皆がこちらを見てくれて最後には緊張しい。とり圧倒的に楽しさが勝っていました。だから思う存分力を発揮することができました。この時、味わったわくわく感は、英語以外でもたくさんのことに繋げられ更なるステップアップができるだろうと思いました。

aん くみ だいひょうせいと **3年4組 代表生徒**

での緊張感と発表を終えた爽快感は今でも忘れられません。これは、自分が今までスピーチコンテストに向けて たたしょうかんはつびょうな。 での緊張感と発表を終えた爽快感は今でも忘れられません。これは、自分が今までスピーチコンテストに向けて れんしゅう 練習してきた努力の証だと思います。また、先生方が仰っていた通りとても価値あることを体験させていただいて これる。これは、自分が今までスピーチコンテストに向けて ないます。また、先生方が仰っていた通りとても価値あることを体験させていただいて これる。これは、自分が今までスピーチコンテストに向けて











【 文化祭について 】

生んじったっしょうけんめいはげんでいる姿を見て、 先日から合唱 練習が始まりましたね。まだまだ課題もあるでしょうが、みなさんが一生 懸命 励んでいる姿を見て、 様たち実行委員もクラスのためにできることを行動に移していきたいと思います。残りの時間、クラスで心を合わせて より良い合唱を創っていってください。



委員長を務めるなら皆さんの思い出に残るような文化祭にしたいです。皆さんが 将来 思い出した時にあの時の文化祭楽しかったよねと良い形で思い出してもらえる ような文化祭にします。

ぶんかさいじっこういいんちょう文化祭実行委員長

【 3年生クラス紹介 】

1組

このクラスは、個性豊かで、皆恵いやりがあり、楽しむ詩と真面自に やる時のメリハリがしっかりつけられる賑やかなクラスです。体育祭では、渡乗りの練習で先生が渡になったり、クラス一致団結して練習に散り組んだことで準優勝という結果を残すことができました。修学旅行では 鹿や文化遺産に触れ、大きなトラブルもなく、良い思い出をつくること ができました。中学校 生活 残り少ないですが、お互いを尊重しあい、クラスの首標に向かって皆で努力できるクラスをつくっていきたいと思います。最後の文化祭では金賞を首標に1人1人が最大限の力を出して悔い の残らない文化祭にできるように頑張りたいと思います。



高須可先生

文: 生徒

えたせいと

2組

3年2組はクラスメイトが第五関係なく楽しく話し、 遊び、夢んでいるクラスです。いつもみんなが笑っていて、授業中もメリハリをつけつつ、全員が笑顔で 上授業を受けています。そんなこのクラスの良い所が 一番表れたのは修学旅行だと思います。修学旅行では、 行程表を作るときから、それぞれが行きたい所を尊重し

合って扱った質が楽しめるようにしていました。当日もメリハリがありつつも、思いきり楽しむことができました。



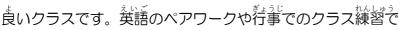
佐久間 直子 先生

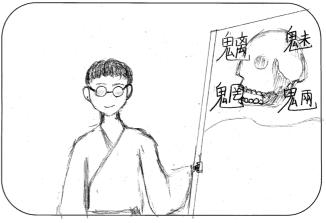
私たちは、これから中学・最後の文化祭や高校受験、卒業式を控えています。このクラスで過ごせる残りの日々をこれまで以上に楽しんで、後悔の全くない状態で中学校生活を終えられるように、これからさらに気合を入れていきたいと思います。

文:生徒 絵:生徒

3組

(漢達3年3組は女子17人、男子20人の計37人のクラスです。3年3組一つの首標に向けて全力を出せるクラスです。例えば体育祭では団結力を発揮して練習に対ち込み、多くの種目で1位を獲り、優勝することができました。今度は文化祭に向けて領張っています。また、男女の隔たりなく、仲が





いけなが りょうた せんせい **池永 潦太 先牛**

も誰であろうと楽しく真剣に取り組むことができます。最後に担任の池永先生はゆるいときはゆるく、 やるときはとことんやる人です。またクラスの決まり事などに関して生徒目線で考えてくれる人です。 またユーモアを持ち合わせています。共進 中学校 最後の一年、全力で歩んでいきます!

4組

3年4組は普段はおとなしいですが、やればできるクラスです。授業の自習の時には誰一人しゃべらず、先生たちも驚くほど静かです。しかし、体育祭や修学旅行は全員で協力して全力で楽しめるクラスだと思います。

3年生最後の学校 行事といえば文化祭!これ から合唱コンクールに向けて4組の良さ~集中するときは



かめい けいた せんせい

とことん集中する"を武器にして練習に取り組んでいきたいです。また、生活面と勉強面のバランスを考えたり、クラスで過ごしやすい空間を作ったりするなど、一人ひとりが助け合って、卒業までに3年4組のみんなで良い思い出をたくさん作っていきたいです。

文: 生徒

え せいと 絵: **牛徒**